

FRIENDS Live 2025 NEWS 第4弾

2025年 FRIENDS Live と日本心血管画像動態学会を共同開催する運びとなりました。

～Next Chapter: Imaging × Physiology が生み出す新たな世界～

多くのチャレンジをすることにより、新たな化学反応を起こし、まだ見ぬ世界を想像・創造する。このスピリットを次の世代につないでゆく、シン・FRIENDS Live、応援よろしく申し上げます。



The poster features a red and blue color scheme with a central image of a human heart and a globe. Text includes: 'Next Chapter Imaging × Physiology が生み出す新たな世界', '2025 1.17 FRI ▶ 18 SAT', '第35回 日本心血管画像動態学会', 'FRIENDS Live 2025', '演題募集期間 2024 8.1 THU ▶ 9.30 MON', and '開催'.

Special Guest 決定！

ORBITA 試験 (Lancet2018)、ORBITA II 試験(NEJM2023)の **Rasha Al-Lamee** 先生
PREVENT 研究(Lancet2024)の **Jung-Min Ahn** 先生
RENOVATE-COMPLEX-PCI 研究(NEJM2023)の **Joo Myung Lee** 先生

Renovate-Complex-PCI 研究 (NEJM 2023; 388: 1668-1679)

BK Koo 先生のもとで、多くの冠循環の研究・論文に携わっている JM Lee 先生。FRIENDS Live にも毎年参加していただいております。今回、彼が NEJM に報告した本研究は、IVUS/OCT ガイド PCI が Angio ガイド PCI よりも、臨床的に有用であることを多施設前向き研究にて検討したものです。1639 例を、IVUS/OCT ガイド : Angio ガイドに 2:1 にランダム割り付けられました。主要エンドポイントは、心臓死、target vessel MI、TVR の複合です。2.1 年の観察期間のイベント発生は、7.7% vs 12.3% (HR 0.64, p = 0.008) で、IVUS/OCT ガイド PCI において有意に低率でした。日本の先生には当然の結果と思われる方が多いと思いますが、このようなランダム化試験を日本では行えていなかったことも事実です。これらの結果を受け、ESC ガイドラインでは血管内 Imaging の使用が class I の推奨となり、海外での臨床における使用が急速に拡大しています。ちなみに JM Lee 先生は、数多くの CMD に関連する研究も報告されており、来年の FRIENDS Live ではさまざまなお話が伺えることと思います。乞うご期待です！！

一般演題、YIA の募集が、いよいよ最終締め切りを迎えます。

最終締め切り：11月15日（金）

YIA や Best Imaging 賞などが設定されていますので、ぜひ若手の先生方のチャレンジをお待ちしております！ 奮ってご応募してください。